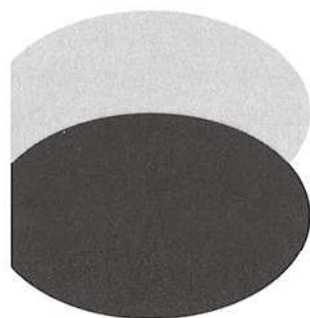


# 2004510

## 絵本学会 NEWS No.21

発行：絵本学会  
発行日：2004年5月10日  
編集：絵本学会事務局・広報委員会  
事務局：〒305-8574茨城県つくば市天王台1-1-1  
筑波大学芸術学系笹本研究室内  
Fax.029-853-2846  
<http://ehongaku.musabi.ac.jp>



絵本学会

絵本フォーラム2004の開催  
専門委員会から 研究グループアンケート  
絵本関係展覧会イベント インフォメーション  
事務局からのお知らせ  
・紀要投稿論文募集  
・研究助成申請について  
・名簿訂正  
新入会員名簿

### 「絵本フォーラム2004」開催

絵本学会主催の「絵本フォーラム2004」が、9月4日（土）に東京の世田谷文学館で開催されます。絵本フォーラムは、さまざまな分野で絵本に関わる人々が集まって、日頃の実践や研究を踏まえて自由に意見交換する場です。会員の皆様の参加をお待ちしています。

#### ●絵本フォーラム2004

絵本の「読み聞かせ」

—それぞれの実践、それぞれの主張（仮称）

日時 9月4日（土）10時30分～16時30分

会場 世田谷文学館

主催 絵本学会・世田谷文学館

テーマは絵本の「読み聞かせ」についてです。読み聞かせは、読み手である両親と子どものコミュニケーションの面からも、テキストとイラストレーションの総合芸術としての絵本の楽しみ方としても有効な方法だといわれています。読み聞かせの大切さに対する理解がすすみ家庭だけではなく、図書館、学校、地域などでも活発に行われるようになりました。一方「読み聞かせブーム」とさえ呼ばれるようになり、問題点も指摘されています。

今回もさまざまな立場から絵本の読み聞かせに関わっている方々にお集まりいただいて、例によってワイワイガヤガヤと意見を交換する予定です。絵本に興味をお持ちの皆さん、読み聞かせを実践している皆さん、気軽に参加して自由に意見交換しませんか。

#### 第一部 話題の提示 10時30分～12時00分

今回の絵本フォーラムのテーマ『絵本の「読み聞かせ」—それぞれの実践、それぞれの主張』について、それぞれの立場から問題提起をしていただきます。

- \*作家と実践者としての経験から  
長谷川稔子（絵本作家）
- \*研究と実践の両側面から  
高橋久子（児童文学者・梅光女学院大学教授）
- \*子どもの発達研究の立場から  
汐見稔幸（東京大学大学院教授）

#### 第二部 談話サロン 13時30分～15時00分

三部屋に分かれ、第一部の話題提供者を囲んで、互いに語り合うひとときです。

#### 第三部 座談会・情報交換 15時00分～16時30分

話題提供者による座談会と参加者の情報交換の場です。

参加費（資料代）：1000円（絵本学会会員割引あり）

定員：150人（先着順）

参加申込方法：

往復はがきに住所、氏名、電話番号、会員・非会員、参加談話会（長谷川、村中、汐見）を明記し、8月11日（火）までに下記へ

申込み・問合せ：

世田谷文学館「絵本フォーラム」係  
〒157-0062 世田谷区南鳥山1-10-10  
tel. 03-5374-9117 fax. 03-5374-9120

## 専門委員会から

### ●研究委員会から

#### 絵本研究グループ・アンケート

研究委員会では、研究グループの情報が会員の皆さまに衆知されていれば、学会員の研究を深め、相互の交流をはかることができるのではと考え、皆さまにアンケートをお願いし、15グループから情報を御寄せいただきました。新規会員を受け入れているグループも多く、皆さま、ふるって御参加ください。御協力いただきました方々にお礼を申し上げます。(但し、内容がアンケートと関係ない1枚については省かせていただいたこととお断りします)

以下、最初に現在活動しているグループ、次に新しく会員をつのって活動を始めようとしているグループを、各々アイウエオ順に御紹介いたします。内容は以下の番号のもとに記します。

1. 研究会の名称
2. 代表者氏名
3. 研究会の連絡先 住所、電話、ファックス番号、メールアドレスなど
4. 研究内容 今までどんなことをし、これからどんなことをする予定か
5. 集る回数、場所など
6. 会費
7. 新規会員及び学会員以外の受け入れ可否

### ■現在、活動中の研究グループ

#### ★

1. 阿佐ヶ谷手づくり絵本の会
2. 深澤涼子

4. オリジナル絵本制作、  
会として日本手作り絵本展や東京ポエケット展に出品。絵本作家のアトリエ訪問や絵本専門店ツアー、展覧会鑑賞など。

5. 毎月1回(第3金曜日)、上記連絡先アトリエにて。
6. 2,000円(月)
7. 可

#### ★

1. 絵本研究会
2. 武藤順子

4. 絵本制作、絵本に関する情報の交換、研究  
東京展「絵本の部屋」企画、出品。紀伊国屋画廊でのグループ展

5. 毎月1回 オリンピック青少年センターにて
6. 5000円(年)
7. 未定

#### ★

1. 絵本ずきんちゃん
2. 伊東裕美

4. 月ごとのテーマにそった絵本の紹介、情報交換。全国の絵本屋さんリスト・ガイド・マップ作り 絵本キャラクターなどの手作り(長新太ふうトホホクッキー、かこさとしふうダルマちゃん落としなど)

5. 毎月1回、メンバー宅にて。
6. 必要経費のみ
7. 否

#### ★

1. 絵本表現研究会
2. 笹本純
3. 305-8576 茨城県つくば市天王台1-1-1  
筑波大学芸術学系、笹本研究室  
TEL 029-853-2846 E-mail jsamt@geijutsu.tsukuba.ac.jp
4. メンバーによる研究発表、展覧会などの見学、アニメ上映会など(これまで)。作家などの招聘による勉強会、アトリエ訪問など(今後)。
5. 毎月1回土曜日午後(不定期)に  
東京都内専門学校教室などで。
6. 無料(但し会場費が必要な場合は分担)
7. 可

#### ★

1. カスチョールの会 (<http://www.terra.dti.ne.jp/~rarara/>)
2. 田中泰子

4. 会と同名の雑誌「カスチョール」を1991年から年1回発行。ロシアの青少年文学、児童文学の中で日本の文化にとってプラスとなる作家、詩人、画家をとりあげ研究発表している。絵本作家ラチョーフ、マーヴリナ、ヴァスネツォーフ、チャルーシ特集などもあり。今準備中の21号には論文「E. ラチョーフのふたつの『てぶくろ』について」掲載予定。

(雑誌購読申し込みは上記連絡先のファックスかメールで。定価700円+送料で1000円)

今後は主に1920-30年代のロシアの児童雑誌「ハリネズミ」などの研究をする。

5. 毎月1-2回、上記連絡先内カスチョール事務所にて
6. 2000円(月)

7. 可(但し1 関西在住 2 ロシア語力があること 3 絵本、児童文学に関心があることの3点を条件とする)

★

1. 札幌市中央図書館えほん研究会
2. 柴村紀代

4. 「絵本論のころみー20人の絵本作家」「読み聞かせ絵本の手引き332冊の絵本」「アンケートからみえてきた赤ちゃん絵本226冊」の3冊を出版。現在は「100人の絵本画家総リスト」を作成中。

5. 毎月1回、札幌市中央図書館会議室にて
6. 無料
7. 可

★

1. 手づくり絵本夢工房
2. 村上祐喜子

4. 身の回りのことを題材にした、各自の絵本作り。合作(カレンダー、カルタ、大型創作絵本)。表現方法の研究(ページめくりの効果、紙面のレイアウト、ストーリー展開)。画材の研究。集って楽しい絵本作り(リレー絵本、長谷川集平氏の「絵本作りトレーニング」にみられるようなゲーム感覚絵本の、お弁当絵本、お天気絵本など。駒形克己氏のワークショップ「ひとつがたくさん」など)。手づくりならではの仕掛け絵本、からくり絵本、変型絵本、布絵本作り。作品展示会(作品合評研究会)、講習会、朗読会。

5. 毎月2回、吹田市山田西の保育スペースにて
6. 1000円+材料費(毎回)
7. 可

★

1. 点字つき絵本の出版と普及を考える会
2. 岩田美津子(てんやく絵本ふれあい文庫)

4. 出版部門・製作部門・流通部門・視覚障害の立場にある利用者部門・メディア部門のメンバーにより、点字つき絵本の現状把握と出版普及の検討。今までの点字つき絵本の出版にいたるまでの経緯や印刷・製本・販売の工夫、苦勞の出し合いの後、標準化の問題や今後の出版に向けての具体的な方策の話し合い。

5. 年2回 小学館(会場提供)
6. 現在検討中

7. 可

★

1. 日本絵本史研究会
2. 三宅興子
3. 567-8578 大阪府茨木市宿久庄2-19-5  
梅花女子大学三宅研究室  
TEL 0726-43-6221 FAX 0726-43-7997

4. 札幌市中央図書館蔵「池田コレクション」を基にして明治、大正、昭和初期刊行の絵本、絵雑誌の研究
5. 毎月1回
6. 1000円(月)
7. 不可

★

1. 母と子の読書研究会
2. 谷出千代子
3. 910-0124 福井市天池町43-1-1  
仁愛女子短期大学内 A402研究室  
TEL0776-56-1133 FAX 0776-56-2922

4. 絵本の作家・画家論、作品分析論、ブックトークなど理論と実践論を展開。谷出が分析論を講義した後、事例・実践例を参加者で話し合いデータで論証。これからは、分析論を中心に、各地で絵本の読み聞かせ活動を行う人の研修の機会にしたい。
5. 毎月1回(第3水)  
仁愛女子短期大学・谷出研究室にて
6. 無料(1月のみ新年会を兼ねて1,000円)
7. 可(ただし人数制限あり)

★

1. 浜中文庫の蔵書を楽しむ会
2. 加賀美裕子

4. 区立大泉図書館内の浜中文庫の洋書絵本650冊の蔵書の鑑賞と読書
5. 大泉図書館読書室にて
6. 無料
7. 可

★

1. 読み聞かせ
2. 長澤和子
3. 西東京市泉町6-14-11 長澤和子  
TEL&FAX 0424-21-2834
4. 乳児から小学生まで書店、イベント会場などで読み聞かせ実践中。読み方、子どもたちをあきさせずに、読み手と聞き手一体となって楽しい時を共有する方法など。
5. 不定

- 6. 無料
- 7. 可

■これから作ろうと考えている研究グループ

★

- 1. 子ども文化の勉強会
- 2. 駒木根 剛 (町田福祉専門学校児童福祉学科・専任講師)

- 4. 絵本をはじめとする児童文化財に関連する美術館・博物館・展示会等への散策

★

- 1. 「バリアフリー絵本」研究会
- 2. 攪上久子

- 4. 「障害」のある子どもたちも一緒に楽しめる絵本・絵本活動の研究・開発・普及。前バリアフリー絵本展・今の世界のバリアフリー絵本展の国内巡回を通して出会うことの出来た皆様と、何らかのネットワークをつくりたい。

★

- 1. ペリカンの部屋
- 2. 駒形美阿子

- 4. 幼稚園、小・中・高(学校)、各種施設(障害者、高齢者など)訪問、読み語り。絵本や紙芝居の作製

## 絵本関係展覧会イベント Information

●軽井沢絵本の森美術館

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町塩沢182-1

TEL.0267-48-3340 FAX. 0267-48-2006

<http://www.museen.org/ehon/>

[info@museen.org](mailto:info@museen.org)

★魔法えほん展～不思議な力に挑む冒険者たち～

会期：2004年3月1日(月)～5月31日(月)

<展示構成>

1. 魔法とは何か
  - 「魔法をかけられたヒーロー、ヒロイン」
  - ・魔法の性格や歴史を追います。
  - ・そして昔話の中で魔法にかけられた主人公たちの姿を見つめます。
  - 「いばらひめ」 フェリックス・ホフマン画
  - 「6羽の白鳥」 アントニ・ボラティンスキ画
  - 「白鳥の湖」 トリナ・シャート・ハイマン画、など
2. 魔法をつかさどる者たち
  - ・魔法を使える人たちは限られています。魔女や魔法使いとはどのような存在なのでしょう。
  - ・中世後期から近世初期にかけて行われた「魔女狩り」の背景にも触れます。
  - ・絵本に描かれた魔女たちはどんな姿をしているのでしょうか。
  - 「魔女の庭」 チャールズ・フォルカード画
  - 「白雪ひめ」 バーナデット・ワッツ画
  - 「ハーメルンの笛吹き」 アンネゲルト・フックスフーバー画、など
3. 魔法の力を借りるヒーロー、ヒロイン
  - ・魔法にはできないことを可能にする力があります。
  - ・魔法を味方につけて、活躍する主人公たちの姿に注目します。
  - 「人魚ひめ」 リー・クレーマー画
  - 「アラジンと魔法のランプ」 エロール・ル・カイン画
  - 「シンデレラ」 マーシャ・ブラウン画、など
4. 『ちびっこカムのぼうけん』
  - ～神沢利子の魔法が息づく世界～
  - ・魔法昔話に見られる要素をふんだんに持ち合わせ、40年もロングセラーとなっている『ちびっこカムの冒険』。
  - ・映画化されたこともあるこの作品の原画(山田三郎画)を紹介します。
  - ・繊細かつダイナミックな山田三郎の作品が、神沢利子の魔法の息づく世界を作り上げています。
  - 児童文学作家として活躍を続ける神沢利子の世界を取



り上げます。

作品点数:約120点

★併設展

「新・欧米絵本のあゆみ」展

会期：同上

★「一大地といのちを描いた画家—木葉井悦子の世界展」

会期：2004年6月3日（木）～6月28日（月）

★「ドイツの子どもの本展＝森から生まれたメルヒェンの源流を求めて＝」

会期：2004年7月1日（木）～10月11日（月）

●エルツおもちゃ博物館

〒38 9-0111 長野県北佐久郡軽井沢町塩沢182-1

電話0267(48)3340 fax.0267(48)2006

info@museen.org

★「地球旅行・各国の民族人形展

—「横浜人形の家」コレクション」より—

会期：2004年3月1日（月）～6月28日（月）

「民族人形」・・・世界の国々で作られ、その国独自の生活様式や風俗が反映されている人形をこう呼びます。本展では、8つの地域の民族人形たちをご紹介します。

海を越えてやってきた地球の裏側の人形たち、また隣国アジアの人形たち、彼らを通して地球の色々な国を歩いて見ましょう。

<展示する人形の出身地>

アジア／東南アジア／ヨーロッパ／アメリカ・カナダ／南米／ロシア／中東／アフリカ

・・・C展示室にて

<作品点数>およそ500点

★併設展：おもちゃの村・ザイフェン

★楽しく学べるおもちゃ展

～“色・形・素材”に流れるフレーベルの系譜～

会期：2004年7月1日（木）～10月11日（月）

●大島町絵本館

〒939-0283 富山県射水郡大島町鳥取50

TEL：0766-52-6780 FAX：0766-52-6777

http://www.ijnet.or.jp/ehonkan/

★うみをわたったこぶた絵本原画展

環日本海をテーマにした文：木崎さと子、絵：黒井健の絵本『うみをわたったこぶた』（岩崎書店）の絵本原画展です。

4月1日（木）～5月12日（水）

●ちひろ美術館・東京

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

TEL 03-3995-0612 / テレフォンガイド 03-3995-0820

FAX 03-3995-0680

http://www.chihiro.jp/tokyo/

★小さきものはみなうつくしいわさきちひろ展

2004年5月12日（水）～7月11日（日）

★企画展 岡 正子展-ちひろの世界が洋服になる-

2004年5月12日（水）～7月11日（日）

対談：岡正子と松本猛

ファッションデザイナー・岡正子が、ちひろへの思いと、「Fashion for the Earth」という理念について、安曇野ちひろ美術館館長・松本猛と語ります。

日時：2004年5月16日（日）17：00～

会場：ちひろ美術館・東京 多目的展示ホール

参加費：入館料のみ(招待券無効・要予約)

●安曇野ちひろ美術館

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原

TEL. 0261-62-0772 / テレフォンガイド 0261-62-0777

FAX 0261-62-0774

http://www.chihiro.jp/azumino/top.htm

★3/1(月)～5/11(火)

<ちひろの仕事>ちひろ・子どもは未来

<ちひろの人生>初期素描/スケッチ展 I

<企画展>まど・みちお展

★5/14(金)～7/6(火)

<ちひろの仕事>ちひろ・線のリズム

<企画展>～ちひろ美術館コレクション～ 世界の絵本 画家展

★7/9(金)～9/14(火)

<ちひろの仕事>ちひろの花鳥風月

<企画展>原田和男展—シデロイホス 鉄の響—

●イルフ童画館

〒394-0027 長野県岡谷市中央町2-2-1

TEL 0266-24-3319(ミミズク) FAX 0266-21-1620

http://www.ilf.jp (URLが新しくなりました)

★中島潔展 —夢童画—

2004年3月26日（金）～6月2日（水）

中島潔氏は、39歳の時NHKテレビ「みんなのうた」のイメージ画で一躍全国的に注目を浴びます。優しい色使いで描き出された、日本の四季折々の美しさと儚（はかな）さ、そこに遊ぶ子供たちの柔らかなほっぺと愁いを帯びたつぶらな眼、それは誰もが心の中に宿している、失われつつある日本の美しい故郷の原風景と重ったのではないのでしょうか。

本展では、—夢童画—をテーマとし前期・後期あわせて50点を展示し、風の画家・中島潔が創り出すぬくもりに満ちた世界へと誘います。どうぞ、ごゆっくりご鑑賞ください。

★モーリス・センダック常設展開催  
～イルフに行けばいつでもセンダック作品に会える！！～  
日本で初めてのセンダックコレクション

●世田谷文学館

〒157-0062 世田谷区南烏山1-10-10  
TEL03-5374-9111 FAX03-5374-9120  
<http://www.setabun.or.jp/>

★絵本展

佐野洋子 絵本の世界展  
平成16年7月17日(土)～9月20日(月・祝)

★池波正太郎の世界展

平成16年4月24日(土)～6月13日(日)  
開館時間 午前10時～午後6時(入場5時30分まで)  
休館日 毎週月曜日(5月3日は閉館)

●世界のバリアフリー絵本展

(PICTURE BOOKS FOR ALL CHILDREN)

国内巡回展 開催情報

日本では出版普及の厳しい現状にあるこうした絵本への世界の今までの取り組みに関心を寄せてくださる方はぜひ会場に足をお運びください。(入場無料)

6月に札幌での開催をしてくださる「ふきのとう文庫」は日本で始めて布の絵本をオリジナルで開発、その後布の絵本というものを全国に普及した事に大きな貢献を果たしてきた団体です。この絵本展でも1970年中ごろの試行錯誤の苦心の作品「ちょうちょう」が展示されています。

絵本展はまさに日本全国かけまわっており、3月末現在15箇所を巡回し、今後20箇所で開催が決まっております。開催地それぞれの地で新しい種がまかれ、芽が育てられています。

開催枠の残りも少なくなってきました。絵本展につきましての詳しい情報や開催希望の方は下記連絡先にお問い合わせください。

主催：日本国際児童図書評議会 (JBBY)

日本ユニセフ協会

後援：絵本学会

絵本展全体連絡先：

JBBY 世界のバリアフリー絵本展実行委員会  
TEL&FAX 042-566-5403 (かくあげ方)

★

＜こどもと本—おかやま—＞

[日時] 5月2日(日)～9日(日) 10:00～18:00

[場所] 紀伊国屋書店 クレド岡山店

・住所 岡山市中山下1-8-45 NTTクレドビル5階

・最寄り駅

JR岡山駅より市電 清輝橋行き 郵便局前下車

JR岡山駅より岡電バス 天満屋行き 天満屋バスターミナル下車

JR岡山駅より徒歩10分

\*5月5日午後 岩田美津子(てんやく絵本ふれあい文庫代表)講演会

[連絡先] 事務局 伊丹 TEL&FAX 086-287-5155

★

＜沖縄県名護市国際交流親善委員会＞

[日時] 5月20日(金)～30日(日)月曜日休館

火～金 10:00～19:00

土・日 10:00～17:00

[場所] 名護市立中央図書館

沖縄県名護市宮里5丁目6番地の1

最寄のバス停「宮里3丁目」から徒歩5分

[連絡先]

名護市国際交流親善委員会

担当者 岸本能子 仲里幸一郎

TEL 0980-51-0123 FAX 0980-51-0325

★

＜ふきのとう文庫(北海道札幌市)＞

日時：2004年6月23日(水)～27日(日)

場所：かでの27 1F 展示ホール

〒001-0000 札幌市北2条7丁目

JR・地下鉄札幌駅 徒歩12～3分

連絡先：ふきのとう文庫 011-665-4835

★

＜日本ユニセフ協会 水戸の会＞

日時：7月6日(火)～11日(日) 9:00～20:00

10日 11日 9:00～17:00

場所：茨城図書館 エントランスホール

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38

JR水戸駅 徒歩5分

連絡先：日本ユニセフ協会 水戸の会 029-254-4361

★

＜金沢市立泉野図書館＞

日時：7月10日(土)～26日(月)火曜日休館

平日10:00～18:00 土日祝10:00～17:00

場所：金沢市立泉野図書館

〒921-8034 石川県金沢市泉野町4丁目22-22

JR金沢駅より路線番号30, 31のバスに乗車(約25分)「泉が丘」バス停下車徒歩5分

連絡先：金沢市立泉野図書館

TEL076-280-2345 FAX076-280-2342

## 事務局からのお知らせ

### ●絵本学会研究紀要『絵本学』第7号投稿論文募集について

絵本学会研究紀要『絵本学』第7号への投稿論文を、次の要領で募集します。ふるってご応募下さい。なお、執筆要領には別に詳細がありますので、投稿希望者は、事務局に請求、取り寄せの上、それに従って原稿を作成して下さい。

#### ★絵本学会研究紀要「絵本学」投稿規程

◎投稿資格：絵本学会会員および準会員

◎内容：絵本に関する研究論文、報告、論説、研究ノートで、未発表のもの

◎掲載採択：査読に基づき、編集委員会が掲載の採否を決定する。必要に応じて編集委員会の外に査読委員を依頼する場合がある。採否判定の過程・理由は開示しない。ただし、投稿者は、結果について説明を求めることができる。この場合、編集委員会は申し出内容を精査の上、適正範囲内で回答する。

◎投稿締切：2004年9月30日（木）（必着）

◎掲載採択通知：2004年12月15日までに投稿者へ通知する

◎刊行：2004年度内

◎原稿送付先：絵本学会事務局（郵送とする。ファックス、電子メール等による送付は不可）

#### ★絵本学会研究紀要「絵本学」執筆要項

（【基本事項】のみ抄録）

◎使用言語：日本語

◎原稿体裁：必ず完成原稿であること。原則として、ワープロによる横書き。表紙に原稿の種類（研究論文・報告・論説・研究ノート、いずれかを記載）題目（和文・英文）、執筆者氏名（ローマ字を併記）、所属機関、専門分野を明記のこと。

◎原稿分量：原則として1篇につき、研究論文は、横23字×縦44行、2段組で、4頁から8頁、文字数にして8000字から16000字まで、報告・論説・研究ノートは4頁（約8000字）以内。

◎抄録分量：論文要旨を、横27字×縦15行、文字数にして約400字程度で記述。掲載決定後、横10語程度×20行、単語数にして約200語程度の英訳を提出。

◎図版：モノクロを原則とする。（カラー図版の場合、経費は投稿者の自己負担とする。編集・印刷の都合で、図版は各論の末尾部に配置する。本文中への挿入はできない。使用する図版数は特に限定しないが、本誌4頁以内に納まるものとする。図版のキャプションは一括して別紙にまとめ、番号順に記載する。なお、図版が多数ある場合、編集委員会において調整をすることがあるので、

キャプション原稿には整理番号のほかに、掲載希望順（重要度）の番号を付すこと。図版原稿は、汚損の無いように保護し、各々に番号（図○、表○、など）のみを付す。（図版の明示方法については【図版（図、写真、表など）】の注意事項を参照のこと）

◎著者校正：原則1回のみ。文字変換ミスの修正など最低限の訂正のみとする。

◎進呈：執筆者には、抜刷30部と、掲載誌5部を無料進呈する。

◎提出物：次の2点を提出すること。

1) プリント原稿3部

（図版原稿、および図版のキャプション原稿を含む。コピー可）

※図版原稿（使用する場合）はデジタル化せず、写真またはカラーコピーを提出。

2) 原稿を入力したディスク

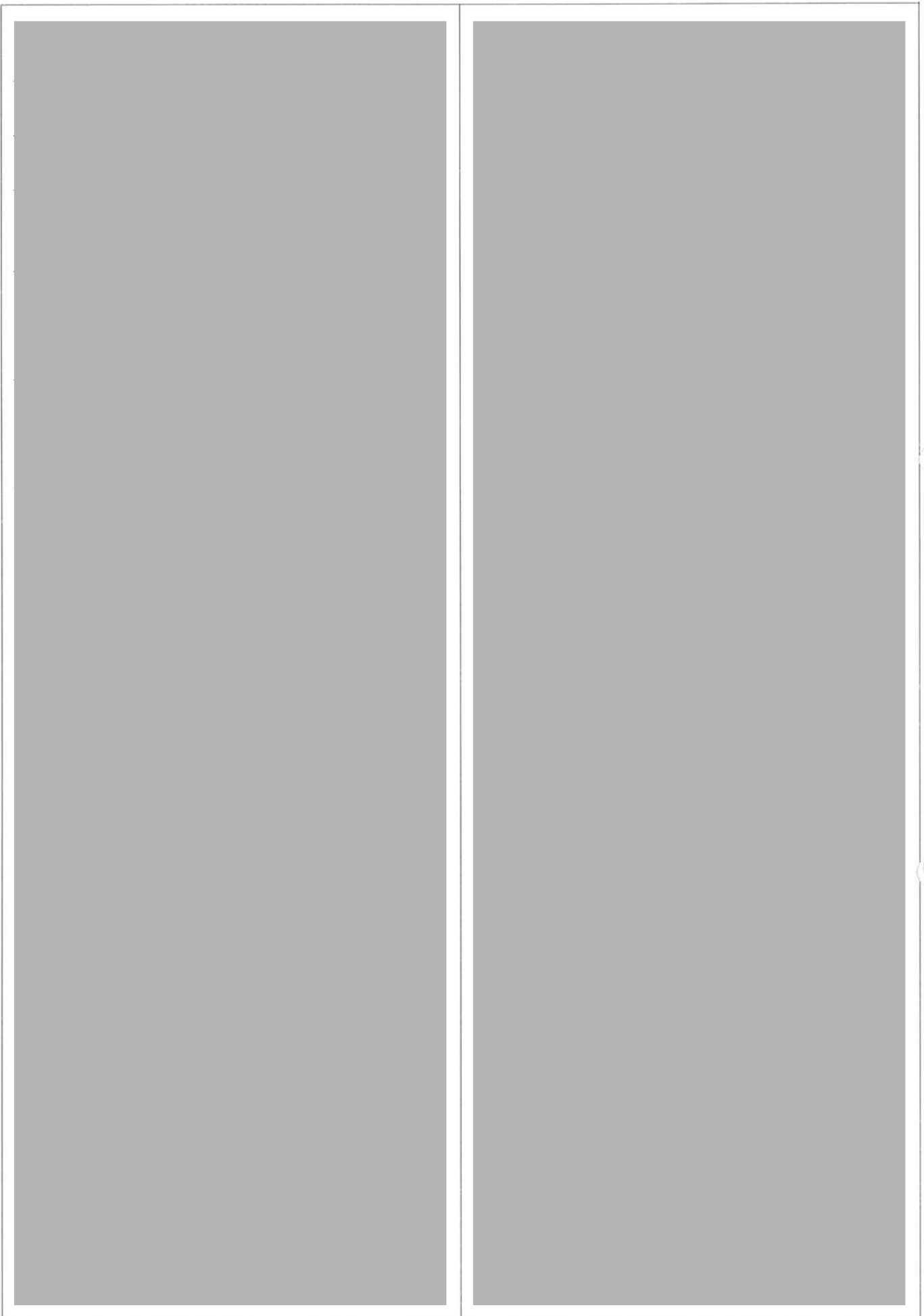
（FD、CD-R、いずれかのディスクで、ファイル形態はWindowsまたはMacintoshのテキストファイルとする。ディスクのラベルには、論文名、氏名、使用したOS、機種、メーカー、アプリケーションソフト名、を明記する）

### ●研究助成について

今年度も絵本研究に関する研究会などグループの活動を助成します。助成金は、一件あたり30,000円とし、平成16年度は、3件について助成します。助成を希望するグループは、研究テーマ・研究の概要・研究代表者および構成員・発表の形態を明記し、2004年6月30日（水）までに（必着）絵本学会事務局宛に郵送してください。結果は、運営委員会・理事会で審査の上お知らせします。

### ●会員名簿の訂正について

先にお届けした『会員名簿2004』の記載内容について次の様な訂正があります。それぞれご訂正方よろしくお願いたします。



## ●運営委員会

2004年2月28日 運営委員会 於：日本女子大学6号館3階会議室

議題

1. 前回記録の確認

2. 第7回絵本学会大会について

1) 韓国作家招聘の件

韓国作家招聘の候補者の中から、イ・ホベック氏より快諾のあったことが、今井会長より報告があった。

韓国作家招聘にかかわる費用は交通費・宿泊費(2日分)を負担。謝礼については、大会実行委員会と検討する。

◎講演内容 以下のような案が出た。

- ・韓国の絵本出版事情の現状とその背景
- ・国際交流・文化交流
- ・会員向けに、レジュメは日本語で用意する。折角の機会なので、できる限り個別の交流を大切に。

2) シンポジウムについて

シンポジウムの司会を広松由希子委員が担当することになった。パネラー候補者を、村中李衣氏、太田大八氏とし、香曾我部委員より交渉する。

3) RTの内容について

大会実行委員会よりの大会プログラムに関する意向(上出恵子氏よりの伝達事項)について、下記3点が報告された。

- ・太田大八氏と川端強氏の対談を入れたい。
  - ・ラウンドテーブルにブックスタートを入れたい。  
ブックスタートとの絡みで、松居直氏を招きたい。
  - ・ラウンドテーブルで長谷川集平氏について扱いたい。
- 上記を踏まえて検討した結果、RTの内容を下記のようにすることになった。

R1 アジアの絵本 韓国を中心に

イ・ホベック氏

コーディネータ 申明浩氏・佐々木宏子運営委員  
通訳は、梅花女子大学の学生さんに依頼する

R2 絵本作家研究 長谷川集平氏

企画内容は開催校で検討

R3 ブックスタート

松居直氏 企画内容は開催校で検討

4) チラシ・ポスターについて

チラシを作成する。ポスター作成は、実行委員会の意向で決定する。

5) 研究発表・作品発表の時間について

研究発表の時間 → 20分発表、10分の質疑応答の計30分の方向で検討する。

作品発表の時間 → 10分発表、5分の質疑応答で従来と同じとする。

6) 会則改正の件

大会で、中間報告をする。

7) 大会開催中の子どもの保育について

子ども連れ参加者のための開催時保育の可能性について、大会実行委員会へ打診することになった。

8) 講師等 謝礼について

基本的には2万円であるが、状況によって上積みも検討する。

3. 機関誌『BOOK END』2号について

別紙「『BOOK END』2号「絵本とミュージアム」特集」が配付され、それに基づいて、『BOOK END』2号の内容と進捗状況(原稿の集まり状況を含め)が、香曾我部委員より詳しく説明され、了承された。

4. 研究紀要『絵本学』6号について

研究紀要掲載論文が3篇で薄くなることについて説明がなされ、意見が交換された。

5. 専門委員会報告

各委員会より、下記のような報告がなされた。

◎企画委員会

- ・灰鳥かり氏を企画委員として加えたいということ。
- ・今年度のフォーラムは、1回目(夏)は「絵本の読み聞かせ」ということで、村中李衣氏、秋田喜代美氏、東京子ども図書館の読み聞かせの講座担当者よりの各氏を候補者として検討している旨、報告された。
- ・フォーラムでもう少し表現的なものを取り上げてもいいのではないかという意見が出た。研究委員会と合同で行なう等を検討していく。

◎研究委員会

・研究グループ等についての調査  
15通の回答があった。この件については、詳しく「絵本学会NEWS」に掲載する。

・研究用語をまとめる

まず1年目は、「1.構造の用語」を各委員で集めまとめる。さらに会員の協力を得て、順次「2.素材の用語」「3.技法の用語」についても、進めていく。

・シンポジウムの開催 企画委員会と合同での開催を希望している。

◎広報委員会

・「絵本学会NEWS」20号を発行したこと。1月19日付け

・日本児童文学学会からの依頼(大阪国際児童文学館存続の寄付についての呼びかけ)に対して、絵本学会の会員名簿宛名シールを渡し、日本児童文学学会から案内を出してもらうことにしたという報告があった。

・「絵本学会NEWS」21号を4月末を目処に発行予定  
・小さい字が読みにくい等の意見もあるので、読みやすさを工夫していく。



## 6. その他

◎中川素子運営委員よりの伝達  
韓国基礎造形学会への参加案内。

### ◎次回運営委員会の開催日程について

次回運営委員会は、2004年4月11日（土）午後2時より、日本女子大学で。（後日、4月11日（日）に変更）

### ◎会則検討委員会について

会則検討委員を三宅興子、香曾我部秀幸、松本育子、正置友子氏で構成し、各委員に3月～4月に改正案を出してもらい、検討する。召集は三宅興子運営委員よりなされる。検討結果を、大会で中間報告し、会員からの意見を募ることにする。

### 4月11日 運営委員会 日本女子大学 6号館 3階会議室 議事：

1. 第7回 絵本学会長崎大会について  
プログラムの内容の詳細、役割分担などを検討。  
研究発表13件、作品発表4件の申し込みがあったことが報告され、作品発表は初日に行うことになった。  
（詳細は大会案内チラシの通り）
2. 第7回 絵本学会総会について  
総会議題となる、今年度活動報告、決算案、来年度活動計画、予算案等について検討。次回運営委員会でも引き続き審議。
3. 会則検討について  
三宅委員より検討状況について報告。次回運営委員会でも引き続き審議。
4. 機関誌『BOOK END』2号について  
香曾我部委員より刊行作業進捗状況について報告。発行は5月末になる予定。
5. 研究紀要『絵本学』6号について  
三宅委員より6号が完成納品されたことについて報告。投稿応募者増に向けて対策を検討。
6. WAVEとの連携について  
今後も継続的に連携を進めていく。
7. 第8回 絵本学会大会（2005年度）の開催について  
中川委員より第8回大会について、京都造形大学を開催地とし、特集テーマは「絵本とアニメ」とする案が出され、今後継続的に検討していくこととなった。
8. その他  
次回運営委員会を5月23日（日）日本女子大にて開催の予定。

## ●理事会

### 4月11日 理事会 日本女子大学 6号館 3階会議室 議題：

1. 第7回 絵本学会長崎大会について  
プログラムの内容の詳細等を検討
2. 第7回 絵本学会総会について  
総会議題となる、今年度活動報告、決算案、来年度活動計画、予算案等について検討。
3. 会則検討について  
三宅委員より検討状況について報告。
4. WAVEとの連携について  
連携を推進する方向を確認。
5. 第8回 絵本学会（2005年度）の開催について  
中川委員より第8回大会について、京都造形大学を開催地とし、特集テーマは「絵本とアニメ」とする案が出され、今後運営委員会等で継続的に検討していくこととなった。
6. 機関誌『BOOK END』2号について  
発行はやや遅れるが、順調に編集制作作業が進捗中であること。フィルムアート社との申し合わせを再確認の上、中身を検討すること。
7. 研究紀要『絵本学』6号について  
6号の発行について報告。
8. 入・退会者について  
新入会員28名、退会者17名について承認。
9. その他  
拡大理事会（監事顧問を含む）を大会後に開催することを確認。

